人民日報 日中新聞 JAPAN-CHINA NEWS

2016年、中国社会科学・社会アジア総合研究所が開いた「2016 年会記念会」の中、神戸大学名誉教授であり、コープ神戸理事長の野尻武敏氏が講演「友愛の使徒 賀川豊彦」の演題を取り上げる。賀川豊彦（1888～1960年）は大正・昭和に活躍したキリスト教を基礎とする社会運動家。今日、広く親しまれている生活協同組合をはじめとする数多くの「生活運動」を興し、広めた偉人で、貧富の格差や社会問題が深刻、賀川豊彦の人物像、功績、そして「友愛社会創造」の現代的意義について説明した。

神戸大学名誉教授

野尻武敏氏「友愛の使徒　賀川豊彦」で講演

類似する2つの時代背景

「共同組合主義」を主張

野尻武敏名誉教授（神戸）

基督教に根ざした思想

自由・平等・友愛とは

多方面で活躍の社会運動家

独自の主張、現代に再生

世界恐慌当時の論争とは

社会の3層で理想具現化